

ホンのつぶやき

・幸福とは幸福を問題にしない時をいう。
by 芥川龍之介（作家・日本）



「変身」読本のすすめ

弥生、三月、桃の節句、入試合格発表、春分の日と続き、^{やよいじん}弥生尽（弥生のつごもり、春の尽きる日）が、やってきます。3月は去るのでしょうか。

今の自分を卒業して、異なる自分、変身した自分を発見し、育てるチャンスの月かもしれません！？！
何に変身しますか？ スーパーマンやウルトラマンなどのヒーローもいいですね。江津市図書館所蔵の本には……。

☆美しいところで、白百合に変身する ^{なつめそうせき}夏目漱石 著『夢十夜』の第一夜。

☆ちょっと、気持ちの悪いところで、身体だけ牛に変身する ^{うちだひゃっけん}内田百閒 著 ^{めいど}『冥土』のなかの「件」。
件は「よって件の如し」の件で、「牛の身を受くる者」とされるように、顔だけ人間で身体が牛なのです。

☆そして、ご存知、^{たわだようこ}フランツ・カフカ 著の『変身』では、毒虫に変身する青年ザムザ。こんな変身は、願ひ下げでしょうが……。この変身については、^{ありじろう}蟻二郎 著のその名も『変身』という本で、興味深い書評に当たりました。ご一読の程を……。

☆またまた定番の、『ジキル博士とハイド氏』（^{スティーブンソン}ステューブンソン 著）を下敷きにしたかと思われる、児童書『紳士とオバケ氏』（^{たかどの}たかどの ほうこ 作）が、あります。紳士のマジヒコ氏とオバケの影法師が重なる、最後のシーンが、何ともほんわり…。新着の『ジキル博士とハイド氏』もお楽しみください。

☆連作長編では、^{ちな}多和田葉子 著『変身のためのオピウム』。22人の女神たちによる変身物語です。あなたはだれに変身します？因みにオピウムは阿片のことです。

☆極め付きは、21人の著者による21の『変身のものがり』ちくま文学の森4。江津市図書館ではこの本でしか読めない『壁抜け男』や『死霊の恋』などおすすめです。

今月の新着図書～ピックアップ～

『最初の哲学者』（^{やなぎ こうじ}柳 広司）

『きのこ文学名作選』（^{いざわこうたろう}飯沢耕太郎編）

『ねむり』（^{むらかみはるき}村上春樹）

『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』

（ウンベルト・エーコ、ジャン＝クロード・カリエール）

『いちにちぶんぼうぐ』（^{ふくべあきひろ}ふくべあきひろ）

今月の休館日

◎毎週火曜日

◎月末休館 3月31日（木）

◎特別休館日 3月2日（水）～5日（土）

※本の返却は返却ポストでできます。

人口・世帯数

総人口 26,262（－63）

男 12,137（－24）

女 14,125（－39）

世帯数 11,736（－24）

（平成23年1月末現在、（ ）は前月比）
※市民生活課調べ

2月に入り、少し暖かくなってきたと思ったら、強烈な寒波の逆襲。例年になく島の星の☆マークを拝む日が多いことです。しかし、「又来りなば春遠からじ」間もなく暖かい春がやってきます。▽春になれば、小学校2校がその歴史に幕を下ろします。取材先で多くの人が「地域の人がここに愛された学校だった」「学校行事では地元の皆さんが一番生き生きとしていた」とお話をいただきました。2校はまさしく「地域の拠り所」だったことを改めて実感しました。▽子どもたちの将来のためにも統合は避けられませんが、地域の活力の源がなくなつたのもまた事実。1人の行政マンとして学校がなくなることの重さを実感しました。（玄海）

編集後記